



東川 実際に地域おこし協力隊として活動してみても感想を聞かせていただければと思います。

三輪 たぶんわれわれに求められているのは、二つあると思うんですけど、一つは今、町長がおっしゃっていたように与えられたポジションの所でどうやって貢献していくかということが一つのミッションだと思うんですけど、もう一つは今日のテーマでもあるんですけど、われわれよそ者として、新

**「よそ者」目線で
どう新得の魅力
を発信していくか**

がトムラウシに住んでみて星がきれいと書いていたけど、普段何気なく当たり前だと思ってるものが、みなさんからしたら他と違う。そういったことを言ってもらえれば、町の宝としてどうやって生かしていこうかなと。色々なところで提案してもらえればありがたいと思います。いずれにしても新得を知ってもらって、慣れしてもらって、少しずつ少しずつ行動する範囲を広げてもらって、みなさんと一緒にやってもらって、そこから手話以外の何か面白いことがあるかもしれないし、そんな気持ちもしています。

**協力隊として
活動してみても感想**



なあとということがありますね。林業は日本全国で人手不足で担い

**担い手不足を改善する
には、働きやすい
システム作りが必要**

手がないということ、もっとなんか良くしていかないと。日本の林業がまずいんじゃないかなと。

東川 それは肉体的にも技術的にもってことですか？

高橋 肉体的にも技術的にもですね。土木の仕事とかの経験があれば多少は違うのかもしれないけど、事務仕事から急にやると差が激しいので、徐々にペースを上げていくようなそういう仕組みが無いと体を使った仕事が全くの初めてで

得という所をどうやって外に発信していけるのかというのが、よそ者としての地域おこし協力隊の力なのかなと思います。私自身もある程度年齢が高いので実はあまりやっていなかったのですが、新得に来てからフェイスブックとホームページの立ち上げをしまして、いろいろな横のつながりの中で全国に発信できるものが無いのか模索しています。この中でいうと米地さんとか牛島さんのフェイスブックなんかを見てますと、やはり新得って良いものや良いところがあるんですけど、それがなかなか外の人に知っても

入ると、ほとんどは途中で辞めちゃうんじゃないかという感じはあります。僕自身、林業の仕事自体は全然嫌いじゃないです。やれるのであればやっていきたいのですが。後は、雨で休みになるんですね。当日雨になって休みになる。もう一人の同じ協力隊の人がいるのですが、その人が行っている事業所は、前日に休みになったりするのは、前日に休みになったりするのは、会社によって違う部分もあるようなのですが、やはりそういう部分では働きやすさというか、休みの予定が立たないことがあったりとか、ちょっと若い人たちは厳しいかなと感じてます。仕事的には徐々に慣らしていけば、ある程度できるという感じはするんですけどね。もう一人の協力隊の人は、そういうのは全然大丈夫そうなので、人によるということも大きいとは思っています。

町長 女性専用のレディースファームスクールというのがあったら、農業全般を学んでいく施設なんだけど、そこには高校を卒業したばかりの人や社会人を経験した人もいます。ものすごくひ弱な子が入っても12ヶ月後には本当にたくましく卒業していくんだよね。当然、辞めていく人もいます。レディースファームスクールも手探りの中で20年近くやってきて、システムと

らえていないことが多いのかなと、そうするとやっぱりわれわれが外に向かって、新得ってこんないいんだよっていうところも発信していかないといけないのですが、その任務をやるというのがなかなか難しく、でも頑張らないといけないのかなと思っています。

米地 私もここに来た時は、移住のフェイスブックを立ち上げて、ブログも始めたんですけど、継続するのって大変ですけど、大事じゃないですか。やろうと思っただけで立ち上げるのは簡単にできるんですけど、それを継続してやっていくのがあまり最近ではできていないかと反省しています。

町長 さっき魚釣りの話が出てたけどキノコもそうなんだけど、本当は教えて欲しくないんだよね。来て欲しくない。町の良さを外に出すことは必要だと思うんだけど、そこまで教えなくても良いんじゃないのかなと。どこまでが限界なのかわからないけど。宝を生かすも守るも難しいな。その辺りの情報の管理というのは良くないのかもしれないけど、場合によってはそういうことが必要なのかなと思っています。

東川 米地さんは結構、情報発信とかしてんですけど、もっと上手にこうしたらいなというのがありますか？

してどうやってたら彼女たちに技量や体力をつけてやれるかということとを思考錯誤しながら、それなりにできてきている。林業は経験の中で「おまえこれやってみれや」のようなそんな雰囲気だと思ってるんだよね。要するにシステムとしてまだできあがっていないと思うから、極端なこと言えば一期生なんだよね。これからシステムができあがってくれば、そういうことも解決するんじゃないかと思うのの一つ。それともう一つがね、お天気商売なんだよね。天候によって休みになったりするけど、これは違う意味での課題でね。ぜひそういうことを言ってもらえると今後、システムを作っていく側の参考になるから、辛い思いというのを言ってもらえると助かるな。本当にそういう話って貴重なんだよね。だから林業って若い働き手が長続きしないんだってということもあるかもしれない。

東川 町長が言ったように、地域おこし協力隊制度を使って、林業の担い手を育成するシステム作りを新得町で今年から取り組んでいるので、そういった貴重な意見も今後のためにも、高橋さんのためにも教えてください。

町長 辞めないでね(笑)

牛島 新得町の協力隊として活動して、エゾシカのことを知りたか

米地 私がやってたのが、来たばかりの時は日常の生活をこなす、行きましたよってようなものだったんですけど、そこから周りの人が何をしたら魅力を感じるのだからかと考えたら、ちょっと難しいなという部分があって、でもあまり考えすぎても書けなくないかなって思っています。でも東京にいた時の生活にないことを書いてきたりとか、自分の知らないことを書いてきたりとかした時は結構反応が良い。これはこうだよとか教えてくれたりとか、広がっていく部分もあるんですけど、意識して発信していけたらと思いますね。

町長 情報発信するということは、より多くの人に新得を知ってもらった上で、来て欲しいっていうか、それが少しでも地域の経済にプラスになるならいい所だよ。

東川 高橋さんは、未体験の林業をやってみてどうですか？

高橋 思っていたより大変と言いますか、いろいろ悩んでいる部分もあります。自分にはちょっと難しいところがあるのかなと思っ

ったので、とても勉強になって良かったなと思っはいるんですけど、活動して思うことは、新得町のために何かをしているのとは違って、今行っている事業所のためにやっているみたいな感じがしています。町全体のつながりは全く感じていないんですね。3年後の任期終了後に、トムラウシで引き続き暮らして、今後結婚することを考えた時に、いろいろな不安要素があるのが最近悩んでいるところなんです。後は、トムラウシ小学校の生徒が流木を使って流木アートを作ったんですね。その流木アートを帯広のカフェに2月くらいに展示して、なおかつ米地さんの移住とか定住の情報や新得町の魅力をその場で発信できたかなというのも考えの一つとしてあります。それにかかる費用は、協力隊の活動経費で出るかなと確認したらいけないということだったので、これは自腹でやろうと。絶対やろうと決めています。先ほどキノコ採りの話が出ていたんですが、自分は魚釣りをしているんですけど、今はインターネットでYouTubeとかの動画を、あつという間に簡単に流すことができるので、それを見た人がすぐ来ちゃう。心無い人が環境を荒らして、後世に残るような環境づくりができてない状態なんです。ここは釣れるから行く、